

堺製油所 (2004年3月31日現在)

所在地	大阪府堺市築港新町3-16
操業開始年月	1968年10月
面積	1,254,603m ²
従業員数	193名
原油処理能力	80,000バレル/日
ISO 9001認証取得	1997.3.14認証取得
ISO14001認証取得	1998.3.20認証取得



堺製油所について

当製油所は、原油処理能力が80,000バレル/日と小規模ながら、京阪神を中心とした近畿一円への安定的な製品供給の責を担っています。当製油所ではグリーンファクトリーへの挑戦をスローガンに、所内燃料のクリーン化(ガス専焼)による硫黄酸化物や窒素酸化物の低減、3Rの高度化による廃棄物の削減など事業活動に関わる環境負荷低減に積極的に取り組んでいます。また、徹底した省エネルギーの推進による温室効果ガスの低減にも努めてきており、これまで資源エネルギー庁長官賞受賞など、外部からも高い評価を頂いています。私たちは、地域の皆様とのふれあいを大切にしたいと考えており、これまでも社員がコーチを務めるテニススクールの開催、少年野球団へのグラウンドの開放、周辺公道の清掃などの社会貢献活動を行ってきましたが、新たな試みとして由緒ある石津太神社境内で行われる盆踊り大会にあわせて、製油所育ちの野生のメダカ約1,000匹を子どもたちに配る計画も町内会新聞に発表して頂きました。これからも安全で環境に優しく地域の皆様に愛される製油所であり続けるために、また環境に優しい製品の安定供給を継続すべく製油所従業員一同、一層の努力を続けていきます。



堺製油所所長
丸川 元

地域コミュニケーション活動

- 地元町内会に対し、新規工事についての説明会開催
- 堺臨海企業各社との情報交換会開催
- テニススクール(2回/年)
- 所外清掃(石津川駅前、製油所周辺) ほか

表彰

- 平成15年度省エネ優秀事例全国大会にて、省エネルギーセンター会長賞
- 高圧ガス優良事業所として、近畿経済産業局長より表彰
- 優良高圧ガス関係事業所として、堺LPG基地が大阪府知事より表彰



2003年度製油所見学者数	32件 263人
無災害記録(延時間)(2003年12月現在)	1,140千時間
PCB保管状況	高圧コンデンサー 12台 その他

環境関連資格保有者数

公害防止管理者(大気)	17名
公害防止管理者(水質)	13名
危険物取扱者(甲・乙種)	276名
高圧ガス製造保安責任者(甲・乙種)	172名
エネルギー管理士(熱)	16名
エネルギー管理士(電気)	4名
特別管理産業廃棄物管理責任者	2名
環境計量士	4名
ボイラー特級	3名
ボイラー1、2級	190名

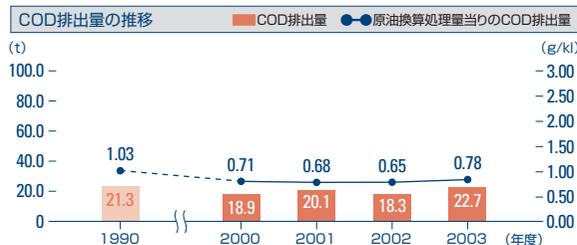
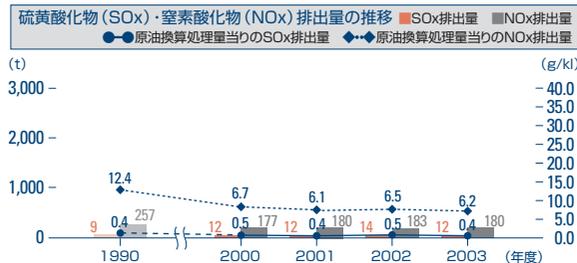
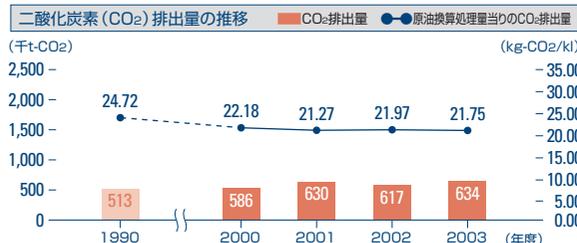
法規制物質

大気	物質	規制値	2003年度実績	
			最大	平均
	NOx(m ³ N/時)(総量規制)	48.822	12.53	10.0
	SOx(m ³ N/時)(総量規制)	45.639	12.68	0.4
	ばいじん(ボイラー)(g/m ³ N)	0.03	0.004	0.004

水質	物質	規制値	2003年度実績	
			最大	平均
	COD(kg/日)(総量規制)	186.8	98.31	62.06
	COD(mg/L)	15(10)	9.9	7.5
	SS(mg/L)	40(30)	定量下限未滿	
	油分(mg/L)	2	定量下限未滿	
	窒素(mg/L)	35	4.0	3.0
	リン(mg/L)	1.5	0.167	0.070
	フェノール類(mg/L)	2	定量下限未滿	

()内は日間平均値

環境パフォーマンス(エネルギーなど)



環境パフォーマンス(PRTR)

PRTR対象物質	単位	排出量				移動量
		大気	水域	土壌	合計	
2-アミノエタノール	kg/年	0	0	0	0	0
エチルベンゼン	kg/年	100	0	0	100	0
キシレン	kg/年	520	0	0	520	0
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg/年	0.3	0	0	0.3	0
トルエン	kg/年	1,400	0	0	1,400	0
ニッケル化合物	kg/年	0	0	0	0	1,300
ヒドラジン	kg/年	0	0	0	0	0
ベンゼン	kg/年	560	0	0	560	0
亜鉛の水溶性化合物	kg/年	0	1,100	0	1,100	0
アンチモンおよびその化合物	kg/年	0	0	0	0	1,200
テトラクロロエチレン	kg/年	0	0	0	0	0

環境会計

環境保全コスト(百万円)		2003年度	
項目		投資額	費用額
1事業エリア内コスト	公害防止コスト	33	589
	地球環境保全コスト	0	2,137
	資源循環コスト	0	88
2上・下流コスト	グリーン購入によるコスト	0	0
	製品の環境負荷低減コスト	68	4,078
	製品の低硫黄化	19	2,189
	ガソリンの有害物質代替	49	1,889
3管理活動コスト		0	94
4研究開発コスト		0	0
5社会活動コスト		0	0
合計		101	6,986

再生紙の購入費 1(百万円)

経済効果(百万円)

項目	2003年度
省エネルギーによる節約額(コージェネレーションによる節約)	779
合計	779

環境保全効果

項目	2003年度	
	環境負荷削減(前年度-当年度)	
	濃度・原単位	負荷量
①事業エリア内の効果		
事業活動に投入する資源に関する効果		
エネルギーの投入	0.14(kL-原油/千kl)	▲214(TJ)
水の投入	4(kg/kl)	▲114(千t)
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果		
大気への排出	CO ₂ 0.22(kg-CO ₂ /kl)	▲17(千t-CO ₂)
	SOx 0.1(g/kl)	2(t)
	NOx 0.3(g/kl)	3(t)
	ベンゼン 0.01(g/kl)	0.16(t)
水域への排出	COD ▲0.13(g/kl)	▲4.4(t)
廃棄物の排出	産業廃棄物発生量 ▲20(g/kl)	▲747(t)
	産業廃棄物再資源化量 ▲10(g/kl)	▲324(t)
	産業廃棄物最終処分量 6(g/kl)	147(t)
②上・下流の効果		
製品の環境負荷低減効果		
製品の低硫黄化	(硫黄分:質量%) (潜在SOx量:t)	
ハイオクガソリン	0.0001	1
レギュラーガソリン	0.0000	0
ナフサ	▲0.0147	▲25
ジェット燃料	0.0111	48
灯油	0.0008	5
軽油	0.0233	281
A重油	▲0.0112	▲114
C重油	0.1142	3,449
LPG	0.0000	0
合計	0.0556	3,645
ガソリンの低ベンゼン化	0.0857(容量%)	829(t)
製品使用時のCO ₂ 排出量	0.0088(t-CO ₂ /kl)	79(千t-CO ₂)